

平成28年7月28日
四国電力株式会社

平成28年度第1四半期 連結決算の概要

1. 電力需要

電灯電力需要は、前年同期に比べ 2.4%減の 59億38百万 kWh となりました。

このうち、電灯は、省エネ機器の普及による影響等から 2.2%の減となりました。電力は、産業用の大口電力が、生産減の影響等により 3.0%の減となったことなどから、2.5%の減となりました。

また、融通等は、前年同期に比べ 114.1%増の 3億64百万 kWh となりました。

この結果、総販売電力量は、前年同期に比べ 0.8%増の 63億2百万 kWh となりました。

(単位：百万 kWh、%)

	27年度第1四半期 (27/4~27/6) (A)	28年度第1四半期 (28/4~28/6) (B)	比較	
			前年差(B-A)	伸び率
電 灯	1,983	1,941	42	2.2
電 力 (うち大口電力)	4,099 (1,907)	3,997 (1,849)	102 (58)	2.5 (3.0)
電灯電力計	6,082	5,938	144	2.4
融 通 等	170	364	194	114.1
総販売電力量	6,252	6,302	50	0.8

(注) 決算日において未確定であるインバランス電力量は含めていない。

2. 電力供給

水力発電電力量は、前年同期に比べ 21.0%増の 11億91百万 kWh、新エネ発電電力量は、30.2%増の 7億42百万 kWh となりました。

この結果、火力発電電力量は、前年同期に比べ 4.6%減の 49億30百万 kWh となりました。

なお、原子力については、伊方発電所の全号機が停止しています。

(単位：百万 kWh、%)

	27年度第1四半期 (27/4~27/6) (A)	28年度第1四半期 (28/4~28/6) (B)	比較	
			前年差(B-A)	伸び率
出 水 率	105.7%	119.5%	13.8%	
水 力	985	1,191	206	21.0
火 力	5,166	4,930	236	4.6
(石 炭)	(2,553)	(2,962)	(409)	(16.0)
(L N G)	(617)	(479)	(138)	(22.4)
(石油ほか)	(1,996)	(1,489)	(507)	(25.4)
新 工 ネ	570	742	172	30.2

(注) 決算日において未確定であるインバランス電力量は含めていない。

3. 収 支

営業収益(売上高)は、電灯電力需要の減や燃料価格の低下に伴う燃調収入の減により、料金収入が減少したことなどから、前年同期に比べ 24 億円(1.6%)減収の 1,511 億円となりました。

営業費用は、燃料価格の低下等により需給関連費(燃料費+購入電力料)は減少したが、退職給付に係る数理計算上の差異の償却や修繕費が増加したことなどから、前年同期に比べ 108 億円(7.3%)増加の 1,595 億円となりました。

この結果、営業損益は、132 億円悪化の 84 億円の損失、経常損益は、135 億円悪化の 92 億円の損失、また、親会社株主に帰属する純損益は、107 億円悪化の 84 億円の損失となりました。

(単位: 億円、%)

		27年度第1四半期 (27/4~27/6) (A)	28年度第1四半期 (28/4~28/6) (B)	比較		
				前年差(B-A)	伸び率	
営業 収益	電灯電力収入	1,153	1,075	78	6.8	
	融通収入ほか	205	270	65	31.4	
	小 計	1,358	1,345	13	1.0	
	その 他 事 業	176	165	11	6.2	
	合 計	[1,396] 1,535	[1,375] 1,511	[21] 24	[1.5] 1.6	
営業 費用	人 件 費	126	186	60	47.2	
	需給 関連費	燃 料 費	294	169	125	42.5
		購入電力料	372	394	22	5.8
		小 計	667	563	104	15.6
	減 価 償 却 費	133	142	9	6.7	
	修 繕 費	89	146	57	64.5	
	原子力バックエンド費用	15	13	2	12.3	
	その 他 費 用	297	394	97	32.3	
	小 計	1,330	1,447	117	8.8	
	その 他 事 業	156	147	9	5.7	
合 計	[1,361] 1,487	[1,474] 1,595	[113] 108	[8.3] 7.3		
営業利益又は 営業損失()		[35] 48	[98] 84	[133] 132	[-] -	
支払利息ほか		4	8	4	113.3	
経常利益又は 経常損失()		[49] 43	[78] 92	[127] 135	[-] -	
湯水準備金引当		1	3	2	94.3	
法人税ほか		18	12	30	-	
親会社株主に帰属する純利益又は 親会社株主に帰属する純損失()		[34] 23	[64] 84	[98] 107	[-] -	

(注) 1. 連結決算の対象会社

- ・連結子会社(9社): STNet、四国計測工業、四電エンジニアリング、四電技術コンサルタント、坂出LNG、四電ビジネス、四電エナジーサービス、SEP International Netherlands B.V.、四国総合研究所
- ・持分法適用会社(1社): 四電工

2. []内は、四国電力単独決算値。なお、「親会社株主に帰属する当期純利益」欄の[]内は、四国電力単独決算値の「当期純利益」を表示している。

参考 燃料価格の諸元

石炭CIF(\$/t)	82	69	13
原油CIF(\$/b)	60	41	19
為替レート(円/\$)	121	108	13

4. 通期の見通し

売上高予想については、平成28年4月に公表した数値から変更ありません。

損益予想については、現在、伊方発電所3号機が使用前検査を受検中であることから、未定としています。今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

売上高(本年4月公表済み)

売上高は、総販売電力量が減少することなどから、前年度に比べ40億円減収の6,500億円程度と予想しています。

(単位:億円、%)

	27年度実績 (A)	28年度予想 (B)	比較	
			前年差(B - A)	伸び率
売上高	6,540	6,500	40	0.6

以上